

会議録

会議の名称	令和4年度 第1回加西市総合政策審議会
開催日時	令和4年7月1日（金）午後2時00分～4時00分
開催場所	加西市民会館 3階 小ホール
<p>議長の氏名（会長 和田 真理子）</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>＜出席委員＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荒木 努                      ・上田尾 真                      ・大野 聖佳                      ・岡田 美香</li> <li>・高木 雄太                    ・谷勝 公代                      ・辻田 聡信                      ・中野 重美</li> <li>・橋本 真由美                  ・濱本 泰秀                      ・樋口 真史                      ・藤本 文俊</li> <li>・山下 光昭                    ・和田 真理子</li> </ul> <p>＜欠席委員＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山本 聖</li> </ul>	
<p>傍聴者の人数</p> <p>一般：なし      報道機関：なし</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと創造部長 藤後 靖</li> <li>・ふるさと創造部人口増政策課長 小菊 啓靖</li> <li>・ふるさと創造部人口増政策課係長 吉川 雅人</li> <li>・ふるさと創造部人口増政策課係長 岩野 裕之</li> <li>・ふるさと創造部人口増政策課主任 千種 健史</li> <li>・ふるさと創造課人口増政策課主任 垣谷 直宏</li> <li>・ふるさと創造部人口増政策課主事 牛尾 充宏</li> <li>・ふるさと創造部人口増政策課まちづくり推進員 小山 映</li> </ul>	
<p>1 議事</p> <p>(1) 加西市総合政策審議会の概要・進め方</p> <p>(2) 実施計画（令和3年度実績）における評価・検証について</p> <p>(3) 内部評価の概要</p> <p>2 その他</p> <p>加西市地域創生戦略の状況報告について（令和3年度）</p> <p>3 会議資料</p> <p>資料1～3、参考資料</p> <p>別紙「加西市地域創生戦略の状況報告について」</p> <p>4 会議の経過</p> <p>⇒別紙「第1回加西市総合政策審議会の経過」のとおり</p>	

(別紙) 第1回加西市総合政策審議会の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
<p>ふるさと創造部長</p>	<p><b>1 開会</b>                      &lt;加西市ふるさと創造部長あいさつ&gt;</p> <p><b>2 委員の紹介</b></p> <p><b>3 会長及び副会長の選出</b>                      事務局が会長を推薦することについて委員より承諾を得る。事務局より、和田真理子委員を会長に推薦し、各委員より異議なし。                      和田会長により、副会長には、濱本泰秀委員が指名され、各委員より異議なし。</p>
<p>会長</p>	<p>(会長挨拶)                      紹介いただいたように、兵庫県立大学では経済地理学を担当している。産業立地であるとか、まちづくりという部分が研究テーマになっている。これまではニュータウン形成や古い中心市街地の再生に、大学のプロジェクトとして取り組んできた。ニュータウンについてはあまり加西市と関係がないように思われるかもしれない。日本のニュータウンは都市圏の中にあり、現在は高齢化に悩まされていたりするが、ニュータウンの本場のイギリスでは、職住近接の自立都市を指し、高齢化はしていない。                      その点からみると、加西市は職住近接であり大都市からも近い。また、加西市においては、人口に対する雇用の割合が48%となっており、イギリスのニュータウンと比較しても劣らない。県下でもこの数値は9位であり、本来の意味でのニュータウン、自立都市としてのポテンシャルはかなりあると考えている。                      今回、審議会委員という形で加西市のまちづくりに携わることができるのは嬉しく思っている。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p><b>4 議事</b>  <b>(1) 加西市総合政策審議会の概要・進め方</b> (事務局から説明)                      [質問・意見なし]</p> <p><b>(2) 実施計画(令和3年度実績)における評価・検証について</b> (事務局から説明)</p> <p><b>(3) 内部評価の概要</b> (事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどの説明では理解できないので、分かりやすく簡潔に教えてほしい。</li> <li>・必要に応じて個別説明をさせていただくので、分かりにくいということがあれば、いつでも事務局にご連絡いただきたい。</li> </ul>
<p>副会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての委員の方もいるので評価の中身についてはもう少し資料があった方がいいのではないかと。サンプルはいただいているが、文面と説明を聞くだけではなく、一つくらいやってみないと分からないだろうし、質問も出ないと思う。</li> <li>・また、評価にあたっては施策の実施が出来たか否かという評価が欲しいのか、施策が効果的であったかどうかという評価をするのが分かりにくい構成になっている。総合計画の目指すところが実現できるかどうかというところまで踏み込んだ評価をしていかなければならないのだから、そこまで踏まえううえで、評価過程の説明、予行演習的なものが必要ではないか。</li> </ul>
<p>事務局 会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回の審議会より部会に分かれての作業に入っていただくので、それまでにご指摘いただいた点を解消できるように資料を準備させていただきたい。</li> <li>・去年の資料などを参考にすることはできないか？</li> <li>・去年とは様式が変わっているため、そのままでは今年度の作業の参考にはならないかもしれないので、改めて用意する。</li> </ul>
<p>委員 事務局 委員</p>	<p><b>部会について</b> (事務局から提案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策毎に関連団体とされているが、所属部会内の他の施策についても委員として意見を求められるという理解でよいか</li> <li>・ご指摘のとおりである。</li> <li>・私は部会1に所属となっている。ただ、部会2の安全なまちづくりについては、子ども</li> </ul>

事務局	もの登下校などの関係で意見を出したいと思うが、それは出来ないのか。
会長	・3部会に分けさせていただいているが、自身の興味がある分野については意見を頂いても問題ない。ただ、3部会に分かれて議論をするので、議論に参加出来るかは分からない。事前に意見をいただく形にする等、事務局で方法を考えたい。
事務局	・違う部会であっても何らかの形で意見をもらえる形を整えるということによいか。
副会長	・事前に意見を頂く以外にも、第4回の全体で議論を行う全体会でもお話いただける。様々なご意見を頂ければと考えている。
事務局	・自分が出した意見がどのように処理され、施策に反映されるのか見えないと欲求不満につながる。事前に意見が出た場合は、部会内でどのような議論があったかも含め、全体会での説明、議論につながるような仕組みが必要ではないか。
会長	・部会で、部会内外の委員意見を吸い上げ、議論を行い、全体会で議論経過も含め紹介する形にしたい。
事務局	・議事録の配布は、担当部会以外のもも配布されるのか。
会長	・そのとおりである。
事務局	・議事録を確認すれば、自身の出した意見について、部会内でどのような議論がされていたかは確認が出来るということによいか。
委員	・そのとおりである。
委員	・先ほどの議論であるが、(部会所属外の委員から)どのような意図で意見が出されるかによって部会の形も変わってくるかと思う。また、その分時間もかかるのではないかと思うので、余裕をもったスケジュールにしてもらいたい。
委員	・方法論になるが、他部会へ意見を出すにしても文書では伝わらない。やはり直接自分の口で伝えたい。部会作業のうち、自身の参加したい部会へ参加して、意見を言う機会を作ってもらい。
委員	・事務局が事前に部会分けをして、ということが既に無理があるのではないか。得意分野もあれば、全然分からないで評価しなければならぬということもある。委員が自分の評価したいテーマに自由に参加できる仕組みにすることは難しいか。
副会長	・昨年部会長を務めた立場からすると、かなり難しいと思われる。各部会40項目ほど評価作業が必要となる。仕切る側としては、どのタイミングでどの事業の評価をしているか見込みが読めない。
委員	・部会間で意見交換となれば、冒頭30分などと取り決めるしかないと思われる。
事務局	・部会に分かれての作業は必須か。
委員	・必須ではない。ただ、評価いただく事業数がたいへん多いため、時間的に難しい。
事務局	・全ての評価を同じ熱量で実施するのは不可能だと思う。(政策・施策、事業の内容に応じて評価に)強弱をつけて、しっかり議論するテーマを20くらいにできないか。
委員	・前計画から比較すると(審議対象となる)事業数は4割ほど減っている。委員の皆様の率直な印象として、それでも時間が足りないと思われるか。
副会長	・昨年も進め方については議論があったと思うが、部会単位と全体会の組み合わせで実施していくのがいいと思う。
会長	・私からの提案であるが、第2回審議会で、部会毎に通り事業を評価し、全体会で議論すべきものだけを抽出する作業をしてはどうか。部会長は大変かもしれないが。
委員	・部会内では全体会で議論すべき内容を絞り込んでいく、という提案であるがいかかか。
副会長	・限られている時間内であっても、議論すべき事業の数は決まっているので、スムーズにいくということはないか。
委員	・部会で議論していても、全体会で再度議論して時間がかかるということも考えられる。全体会を2回するというのは1つの手であると感じる。
副会長	・行政側から事業内容の説明があるので、それを聞くだけでも結構時間がかかる。
委員	・担当部会以外の資料も事前配布されるのでそちらに目を通して、意見を伝えたい施策があれば、事務局を通じて意見が表出できるような形にできればどうか。
委員	・先ほどの意見に賛成である。これまでも審議会に参加しているが、(全体会での議論にウエイトをおくのは)やはり時間的に厳しい部分もあると思う。
副会長	・私も市の計画作成に携わった経験があるが、審議会で意見をいただき非常に参考になった。部会外の施策に意見が出せるのは重要だと思う。
委員	・部会内での議論だけで評価がまとまらない場合は全体会へ諮るというシステムはどうかと思う。
会長	・全体会のウエイトが大きくなると委員の負担も増え、時間的な制約がある中で議論をまとめるということが難しくなるという意見だと思うがいかかか。
委員	・提案された2人の意見に賛同する。副会長が提案されたのもそのような趣旨からではないかと考えている。先ほど意見があったように、自分が知っている分野に意見を言いたい、言わないといけないという思いをどう酌むかの議論だったと思う。皆さんが

<p>委員</p>	<p>おっしゃったように、部会内の議論のはじまる前に、部会外からの意見について紹介したうえで、部会内での議論を進める形がよいのではないかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審議対象となる事業数だけ言っているとかなり減った印象はある。ただ、第2回、第3回に分かれているので、第2回でどこまで評価できたかによって、第3回でどれくらいのペースですすめるかが決まってくる。第3回に時間を取りすぎると、議論が枝葉末節の部分にいきがちになる。逆に第2回にある程度評価が出来ないと、第3回は駆け足になってしまって重要な施策が十分議論されないこともあった。そのような点はある程度見直すべきだと思う。</li> <li>・また、部会内の施策であっても、得意不得意はある。私自身も『下水道』などのテーマでは意見が言えない。ただ、他の委員にとってはそこが重要課題となるかもしれない。別の部会の方から意見がもらえれば、部会内での議論の種になる。そこから生まれる議論はとても有意義なものになると思う。</li> <li>・個人的には、委員の負担、時間的な問題を考慮して、部会は2回（第2回、第3回）に分かれてやるべきだと考えている。</li> </ul>
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部会外への意見提出については、事務局で考えてもらう方向でよいか。（意見・異義なし）</li> <li>・それでは、部会の編成については、まずは事務局からの提案に基づいて実施することとする。</li> </ul> <p>5 その他 加西市地域創生戦略の状況報告について（事務局から説明） （質問・意見なし）</p>
<p>副会長</p>	<p>6 閉会 ＜副会長あいさつ＞</p> <p>長時間ありがとうございました。第1回目から議論が白熱したが、この審議会で、加西市の指針たる総合政策をしっかりと見ていこうという意思の表れだなと感じている。本来であればすべての事業を全体で評価できればよいが、時間的な問題もあり部会に分かれてやっていくほうがいいのかと思う。</p> <p>評価のためには、行政の内部評価をしっかりとやってもらいたいと考えている。A評価を得るための文章を書くのではなく、実態をしっかりと書いてもらいたい。また、現場では事業を進めながら問題点も理解していると思うので、現場の思いを評価シートに書いていただいて、我々委員が議論できるようにしてもらえようをお願いしたい。</p> <p>まだ3回の会議がありますので、今後も白熱した議論を交わしながら、しっかり評価していければと考えております。委員の皆様よろしくお祈りします。</p>